



にしきまち 集落支援だより

令和6年11月11日 No.35

錦総合支所 地域振興課 集落支援員

ふじしげ ひでゆき
藤 重 秀 之

☎ 0827-72-2110



紹介する情報提供 お願いします！！

各地区の集落状況を把握するため、取材にご協力を頂いたみなさま、ありがとうございました。今後も、伺っていない地域や地域活動にも積極的に参加取材したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

9月、10月に伺った

『八朔祭り（向峠）』、『宇佐川小学校・宇佐川小学校区運動会』、『カレーづくり体験』を紹介します。また、号外として『寂地山カタクリ自生地拡大プロジェクト』を併せて紹介します。



大 蛇

～八朔祭り～

日 時：令和6年9月7日（土）

場 所：松陰高等学校体育館（向峠）

演 目：潮祓、塵輪、道返し、頼政、大蛇

「八朔祭り」は、五穀豊穡、豊作の祈願の祭りとして各地域で行われていますが、向峠地区では、毎年、夏の終わりに向峠神楽保存会による神楽舞を披露しています。当日は、地元の方以外にも、隣の島根県、広島県からも来られるなど、会場は沢山の皆さんで賑わっていました。

また、ビール、ジュース類の他、榎本牧場のソフトクリーム、向峠神楽保存会による、焼き鳥、カップラーメンなどが格安で提供され、「売れば売るほど赤字ですが、皆さんどうぞ！」と団長によるアナウンスが流れると、会場は笑いに包まれていました。演目の最後は「大蛇」を退治した「須佐之男命」による「喜びの舞」で八朔祭りを締めくくりました。

向峠地区の伝統行事は、地域の人々の生活と密接に結びついており、住民同士の絆を深める場として、祭りを通じた地域交流が盛んに行われています。これからも大切な伝統行事が受け継がれていくことを期待しています。



冷たいよ
ソフトクリーム
美味しいよ！！

みんな..
オニこわい！！
オニ 楽しそう

熱いよ！
焼き鳥
美味しいよ！！

宇佐川小学校・宇佐川小学校区運動会

日時: 令和6年9月14日(土)

場所: 宇佐川小学校体育館

宇佐川小学校の運動会は、地域住民の参加を積極的に受け入れている素晴らしいイベントです。運動会当日は、地域住民がボランティアとして体育館清掃を手伝ったり、運営をサポートしたり、こどもたちと一緒に思い出が作られており、みなさんはかげながら応援しておられました。



**6年生！！
小学校最後の運動会
堂々の行進！！**



**地域住民は
フォークダンス
1年振りだよー**

○児童とのふれあい

地域住民にとって、こどもたちの成長を間近で見られる貴重な機会となり、こどもたちの頑張りの笑顔に触れることで、元気をもらえます。



**白組！！
お父さん、おいしいちゃん
がんばれ！**

○親とのふれあい

親にとっても、こどもたちの成長を感じる貴重な機会となり、地域住民の参加は大きな励みになります。

こどもたちは地域の人々に支えられていることを実感し、感謝の気持ちを持つとともに、地元への愛着を深めることができます。



**紅組！！
お母さん
がんばれ！**

オリジナル駅弁カレーづくり体験

(都市と農村部の体験事業プログラム)

日時：令和6年10月1日（火） 場所：錦保健センター（2階）、岩国高等学校広瀬分校調理室

地域の新鮮な野菜食べて味わうことで、農業の大切さや、地元産の食材の素晴らしさを感じることが出来る体験として、オリジナルの駅弁カレーづくり体験が行われました。会場を2つに分け、小学校児童が錦保健センター、中学生・高校生は、岩国高等学校広瀬分校において調理しました。

調理講師として、食生活改善推進協議会の皆さんからご指導いただきました。また、食材(米)の説明で、稲作農家である白石克至さんが、中学生・高校生に対し、ご説明をしていただきました。

小学校児童



材料の野菜、米は
地元食材を使用



児童たちが楽しそうに和
気あいあいと、カレーづく
りをしていました。



みんなで協力して！！
手作りの楽しさや達成感も味わうこと
ができたと思います。



自分達の手作りカレー
美味しかった

中学校・高校生徒

稲作農家
白石克至講師



農家の方々との交流を通して、
農業の大変さや喜びを知る



「私達の健康は私達の手で」

・・・ピンクTシャツに印刷されていました。

食生活改善推進協議会 錦支部のメンバーが料理の先生を務められているこ
とは、地域の方々の温かい人柄にもふれ、心温まる体験になったと思います。

調理を行い、新鮮な地元野菜を味わいました。農業で米ができるまでの工程も学びました。この体験
は、児童・生徒が、食の大切さや地元への理解を深める素晴らしい機会になりました。

そして、ご指導いただきました食生活改善推進協議会の皆さん、白石克至さんご苦労様でした。

寂地山カタクリ自生地と登山道の再生

日時: 令和6年9月中旬

場所: 岩国短期大学、寂地山登山道、寂地山山頂



号外

カタクリは春の短い期間だけ可憐な花を咲かせ、その美しさは多くの人を魅了します。

カタクリは、日当たりの良い場所を好むため、草木が生い茂ると生育が阻害されます。さらに、種子から発芽するまでは数年かかるため、草刈りなどの適切な管理が必要となります。

寂地山山頂にカタクリは咲いており、その管理作業を行うためには、登山道の整備も必要です。

維持活動は継続が大事です。今回は、岩国短期大学生をはじめ、多くの方に支援をしていただきました。

——今年度実施しました活動を紹介します。——

県内大学生による地域支援活動

土嚢作り作業(岩国短期大学生)

場所: 岩国短期大学施設内



岩国短期大学生 土嚢作り体験

地域貢献: 地域の貴重な自然環境を守る活動に参加することで、地域貢献を実感することができ、土嚢作りの作業を通し、実際に体を動かしながら、環境保全に関する知識や防災に関する技術を習得することができました。

地域づくり支援団体による地域づくり支援

登山道整備作業(寂地峡観光協会)

場所: 寂地峡登山道

岩国短期大学からの土嚢搬出



安全な登山環境の確保:

カタクリの管理や、登山道を利用する人々の安全を確保するための、作業を行いました。デコボコした地面に土嚢を敷き詰め、事故発生リスクを軽減することと、土嚢を積み上げて水路を作り、雨水による土壌侵食を防ぐようにしました。

地域ボランティア支援

草刈り作業

場所: 寂地峡山頂



草刈り作業



カタクリ群生地



集合写真

カタクリ生息地における保護活動:

カタクリの生育に適した環境を維持するためには、周囲の草木を刈り払い、日当たりを確保することが重要です。カタクリの開花範囲を広げたい思いで、昨年開花した場所より範囲を広げて作業をしました。

このように多くの人に支えられることで、寂地山のカタクリを管理・維持していくことができます。もちろん、これを維持していくためには、継続が重要です。

これからも、地域の方々を含め、多くの方がこの活動と一緒に参加して、今の美しい景色を残せていけるように願います。

また、来年の春先に登山する方が、きれいに咲くカタクリを見ることができることを願います。